

# SCB

SHINKIN  
CENTRAL  
BANK

産業企業情報

2021-5

(2021. 7. 28)



信金中央金庫

SCB 地域・中小企業研究所

〒103-0028 東京都中央区八重洲 1-3-7  
TEL. 03-5202-7671 FAX. 03-3278-7048  
URL <https://www.scbri.jp>

## 全国中小企業景気動向調査からみた中小企業の動向 —依然続くコロナ禍の被害、前向きな事業戦略を進める企業も—

### 視 点

本稿では、信金中央金庫が全国の信用金庫の協力を得て取りまとめている全国中小企業景気動向調査（調査期間：6月1日～7日）において、信用金庫調査員が全国の中小企業から聴取したコメントを用いて、中小企業の経営の状況についてまとめる。

新型コロナウイルスによる需要低下の被害を訴えるコメントが依然として多いなか、新しい取組みを通じて需要を獲得しているとの声も聞かれた。また、ウッドショックや半導体不足など、供給面からの影響を受けているケースも多くみられた。

### 要 旨

- 2021年6月の業況は、前期比で改善した。過去最悪水準となった2020年6月と比較すれば相対的に良い水準にあるものの、新型コロナウイルス感染拡大前と比較すると依然として低水準にとどまっている。また、2021年9月見通しは若干の改善となっている。
- コロナによる需要低迷や各種イベントが中止になったことに関連した被害を訴えるコメントは、前回から引き続き多い。他地域との往来が困難になったことが事業の妨げとなっているとの声も聞かれる。中には、廃業について言及するケースもみられた。
- 一方で、コロナ禍の中でも需要が増加しているとするコメントも、幅広い業種から寄せられている。特に、ECサイト等のネット販売によって需要を獲得したとのコメントは数多くみられた。そのほかにも、新分野参入や事業転換を図るなど、前向きな取組みを行っているとのコメントも多数みられた。
- ウッドショック、半導体不足、その他原材料不足や資源価格高騰といった、いわゆる仕入の「不足」や「価格上昇」に関連するコメントが多くみられた。
- 事業継続計画（BCP）については消極的なコメントが多かった。
- 個人消費と関連が深い業種を中心に、ワクチン普及による経済回復に期待を寄せるコメントが全国から寄せられた。

### キーワード

中小企業景気動向調査 新型コロナウイルス 中小企業経営者 ウッドショック 半導体不足 SNS 新分野参入 事業継続計画（BCP） ワクチン

目次

はじめに

- 1. 2021年6月調査における業況の概観
- 2. 調査員のコメントから
  - (1) 経営面での苦境
  - (2) 業績好調
  - (3) 人手不足
  - (4) 仕入材料不足、価格高騰
  - (5) 前向きな取組み
  - (6) 事業継続計画（BCP）への取組み
  - (7) ワクチンへの期待

おわりに

はじめに

信金中央金庫では、全国の信用金庫の協力を得て、四半期ごとに「全国中小企業景気動向調査」を取りまとめている。

本調査の特徴の1つに、実際に中小企業から聞き取りをしている信用金庫職員の視点からその企業を分析した「調査員のコメント」欄の存在がある（図表1）。コメント欄には、その企業の状況について、定型的な質問への解答だけからはわからない実態が細

（図表1）全国中小企業景気動向調査の調査表（左下、破線の円部分が「調査員のコメント」）

**特別調査** 「中小企業の事業継続について」

問1. 貴社は、現下の状況を受けて、事業継続についてどう感じていますか。次の1～5の中からお答えください。また、貴社の業歴について、6～0の中からお答えください。

<p><b>事業継続</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 強く危機を感じている</li> <li>2. やや危機を感じている</li> <li>3. あまり危機を感じていない</li> <li>4. 全く危機を感じていない</li> <li>5. むしろ好機と感じている</li> </ol>	<p><b>貴社の業歴</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>6. 10年未満</li> <li>7. 10年以上30年未満</li> <li>8. 30年以上50年未満</li> <li>9. 50年以上100年未満</li> <li>0. 100年以上</li> </ol>
------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

問2. 貴社では、事業継続を困難化させる要因について、どのようなリスクを重視していますか。最も当てはまるものを、1～9の中から最大3つまで選んでお答えください。なお、特になしという方は0を選択下さい。

<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 事業所の使用不能</li> <li>2. 経営者の離職</li> <li>3. 仕入や調達困難化</li> <li>4. 社内の不正行為</li> <li>5. インフラ（電気・水道・通信等）の障害</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>6. 物流の停止</li> <li>7. 従業員の労働不能</li> <li>8. 販売先の閉店</li> <li>9. 社内設備やシステムの故障</li> <li>0. 特にリスクは意識していない</li> </ol>
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

問3. 貴社では、災害に備え、どのような対策を取っていますか。最も当てはまるものを、1～9の中から最大3つまで選んでお答えください。なお、特になしという方は0を選択下さい。

<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 建物や設備の耐震化</li> <li>2. 技術や情報のバックアップ</li> <li>3. 社内の連絡体制の整備</li> <li>4. 損害保険への加入</li> <li>5. 必要な資金の確保</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>6. 取引先との事前の協議</li> <li>7. 原材料等の代替調達先確保</li> <li>8. 自然災害を想定した訓練</li> <li>9. その他（ ）</li> <li>0. 特に対策は取っていない</li> </ol>
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

問4. 感染症や災害などの緊急時における業務の早期復旧のために、「事業継続計画（BCP）」の作成が有効とされています。貴社が事業継続計画（BCP）を作成（予定を含みます）している場合は、そのきっかけについて下記の1～6の中から、1つ選んでお答えください。また、作成していない場合は現在の状況について7～0の中から、1つ選んでお答えください。

<p><b>実施のきっかけ</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 行政からの要請</li> <li>2. 業界団体からの要請</li> <li>3. 取引先からの要求</li> <li>4. 他社が災害・被害を受けた</li> <li>5. 自社が災害・被害にあった</li> <li>6. その他</li> </ol>	<p><b>現在の状況</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>7. 日常業務が忙しく余裕がない</li> <li>8. 作成のための人材がない</li> <li>9. BCPについてよくわからない</li> <li>0. 当社には必要ない</li> </ol>
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

問5. 貴社では、事業継続にあたって、常日頃から繰り返している相談はありますか。最も当てはまるものを、以下の1～9の中から最大3つまでお答え下さい。なお、特になしという方は0を選択下さい。

<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 地方自治体</li> <li>2. 商工会・商工会連合</li> <li>3. 業界団体・同業協会</li> <li>4. 取引先</li> <li>5. 警察署・消防署</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>6. 金融機関</li> <li>7. 税理士・公認会計士</li> <li>8. 弁護士</li> <li>9. 診断士等コンサルタント</li> <li>0. 特にない</li> </ol>
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

**調査員のコメント**

お忙しいところご協力いただきましてありがとうございました。

**第184回全国中小企業景気動向調査表（製造業）**

2021年4～6月期

信用金庫

**<番号記入要領>**

金庫コード …… 手形交換に使用する統一金庫コードを記入してください。  
 地域番号 …… 下記地域番号表を参照して、調査企業の所在地に該当する番号を記入してください。  
 業種番号 …… 下記業種番号表を参照して、該当する番号を記入してください。  
 従業員数 …… 雇用者、家族従業員を含み、パートを除く従業員数を「0」「1」「5」「入」のように記入してください。  
 また、パート・アルバイト数につきましては、調査時点における人数を記入してください。

※あてはまらない項目や不明な項目についての番号欄は、空白のままご記入ください。

(地域番号表)	
(01) 北海道	(13) 東京都
(02) 青森県	(14) 神奈川県
(03) 岩手県	(15) 新潟県
(04) 宮城県	(16) 山梨県
(05) 秋田県	(17) 長野県
(06) 山形県	(18) 富山県
(07) 福島県	(19) 石川県
(08) 茨城県	(20) 福井県
(09) 栃木県	(21) 岐阜県
(10) 群馬県	(22) 静岡県
(11) 埼玉県	(23) 愛知県
(12) 千葉県	(24) 三重県
(25) 滋賀県	(26) 京都府
(27) 大阪府	(28) 兵庫県
(29) 奈良県	(30) 和歌山県
(31) 徳島県	(32) 高松県
(33) 香川県	(34) 愛媛県
(35) 高知県	(36) 福岡県
(37) 佐賀県	(38) 熊本県
(39) 大分県	(40) 宮崎県
(41) 鹿児島県	(42) 沖縄県
(43) 北海道	(44) 青森県
(45) 岩手県	(46) 宮城県
(47) 秋田県	(48) 山形県
(49) 福島県	(50) 茨城県
(51) 栃木県	(52) 群馬県
(53) 埼玉県	(54) 千葉県
(55) 東京都	(56) 神奈川県
(57) 新潟県	(58) 富山県
(59) 石川県	(60) 福井県
(61) 岐阜県	(62) 静岡県
(63) 愛知県	(64) 三重県
(65) 滋賀県	(66) 京都府
(67) 大阪府	(68) 兵庫県
(69) 奈良県	(70) 和歌山県
(71) 徳島県	(72) 高松県
(73) 香川県	(74) 愛媛県
(75) 高知県	(76) 福岡県
(77) 佐賀県	(78) 熊本県
(79) 大分県	(80) 宮崎県
(81) 鹿児島県	(82) 沖縄県

(業種番号表)		
(11) 食料品製造業	(19) ゴム製品製造業	(27) 印刷業、染整業
(12) 繊維工業（衣服・その他の繊維製品を除く）	(20) なめしかわ・肉製品・毛皮製造業	(28) 一般機械器具製造業
(13) 衣服・その他の繊維製品製造業	(21) 窯業・土石製品製造業	(29) 輸送用機械器具製造業
(14) 木材・木製品製造業（家具を除く）	(22) 鉄鋼業	(30) 精密機械器具製造業
(15) 家具・装飾品製造業	(23) 非鉄金属製造業	(31) 貴金属製品製造業
(16) パルプ・紙・紙加工品製造業	(24) 金属製品製造業（25・26を除く）	(32) がん具・運動器具製造業
(17) 出版・印刷・同関連産業	(25) 建設用・建築用金属製品製造業（製かん板企業を含む）	(33) 鉄骨・鉄骨・ボルト同関連品製造業
(18) 化学工業	(26) 金属プレス・メッキ	(34) プラスチック製品製造業
		(35) その他の製造業

（備考）信金中央金庫 地域・中小企業研究所作成

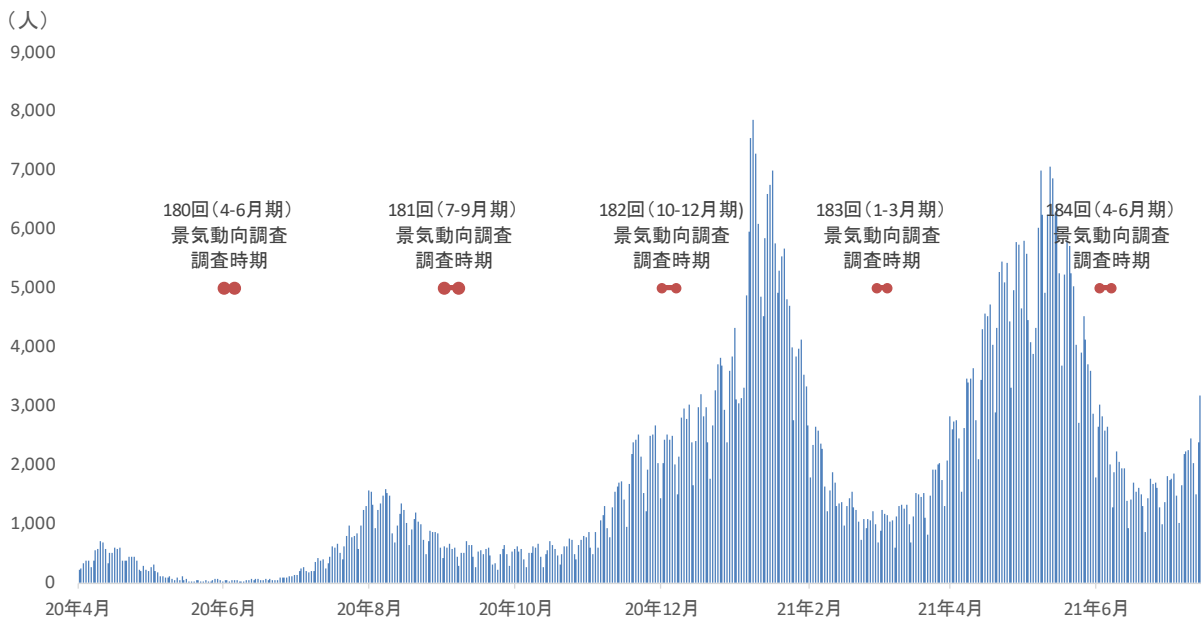
産業企業情報 2021-5 2021. 7. 28

かく記述されており、中小企業の現状についてわかりやすく伝えてくれている。

そこで本稿では、2021年6月調査の結果を振り返るとともに、「調査員のコメント」欄をまとめることで、中小企業における新型コロナウイルスの影響について概括する。

なお、第184回調査の調査期間は6月1日～7日である。この時期は、国内の新規感染者数の増加が一服し、減少に転じていた時期にあたる（図表2）。

（図表2）国内の新規感染者数の推移



（備考）厚生労働省資料等より信金中央金庫 地域・中小企業研究所作成

## 1. 2021年6月調査における業況の概観

2021年6月の業況判断D. I. は、前期比で5.5ポイント改善し、 $\Delta 31.6$ となった（図表3左上）。過去最悪水準となった2020年6月（ $\Delta 56.9$ ）と比較すれば、相対的に良い水準にある。もっとも、プラスマイナス0前後だった新型コロナウイルス感染拡大前と比較すると、依然として低水準にとどまっている。また、2021年9月見通しは $\Delta 31.4$ と、0.2ポイントの小幅改善を見込んでいる。

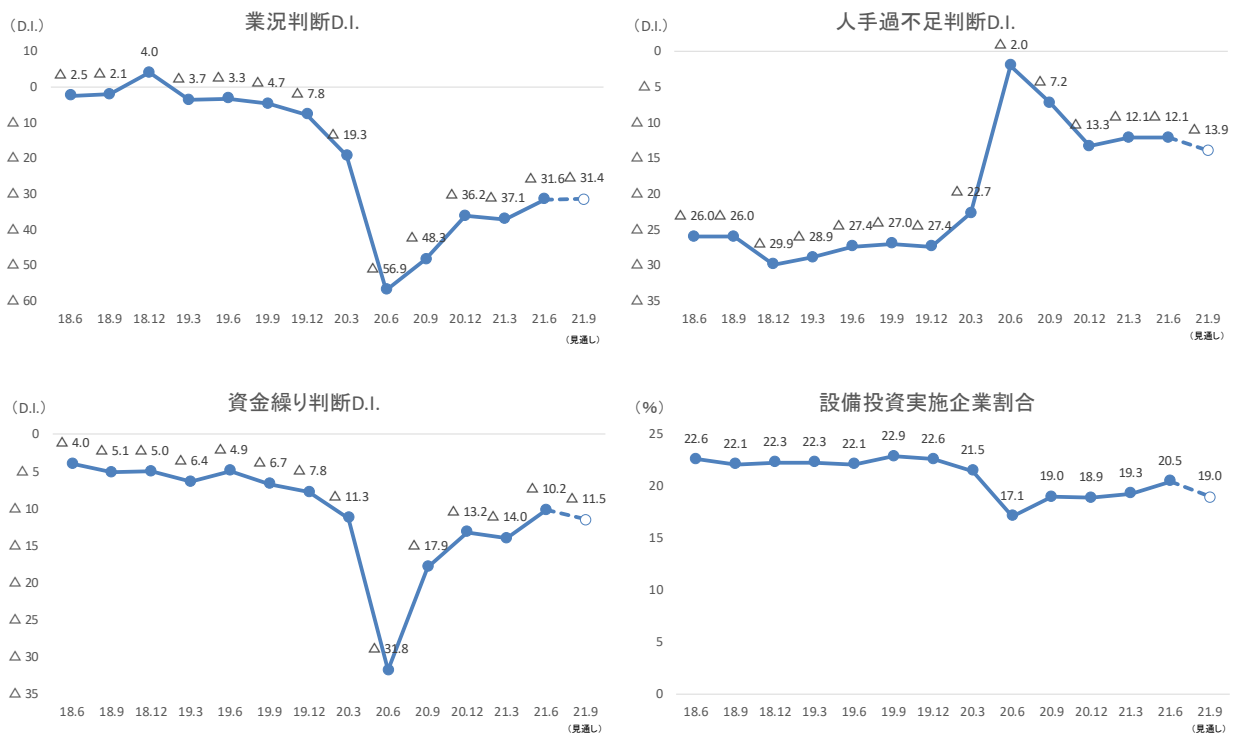
そのほかの指標を整理する。人手過不足判断D. I. は、2021年6月で $\Delta 12.1$ と前期比で横ばいとなり、人手不足感が継続していることを示唆している（図表3右上）。建設業を中心に人手不足感はいまだに根強く、業況が厳しいなかでも人手不足に悩む企業が多いことが表れている。

資金繰り判断D. I. は、2021年6月で $\Delta 10.2$ と前期比で3.8ポイント改善した（図表3左下）。水準自体は、コロナショック以前にはおよばないものの、業況判断D. I. と比較すると大きく回復している。このことから、本業の回復は依然として進まないながらも、持続化給付金や、実質無利子・無担保融資などの政府による企業への資金繰り支援

策が一定の効果を挙げていることが示唆される。

設備投資実施企業割合は、2021年6月に20.5%と前期比で1.2ポイント改善した。新型コロナウイルス感染拡大前と比較すると依然として低水準ながらも、着実に改善している。なお、見通しが1.5ポイント低下の19.0%となっているが、本調査の傾向として、実際の実績は、前期時点の見通しを上回ることが多いため、見通しが低いからと言って来期の設備投資実施企業割合が低下するとは限らない（図表3右下）。全体としては、業況は厳しい水準ではあるものの、改善傾向にあると言えよう。

（図表3）全国中小企業景気動向調査における主要指標の推移



（備考）信金中央金庫 地域・中小企業研究所作成

## 2. 調査員のコメントから

今回も、信用金庫調査員を通じて、全国の中小企業・小規模事業者から多数のコメントが寄せられている。本稿では、これらのコメントを「経営面での苦境」「業績好調」「人手不足」「仕入材料不足、価格高騰」「前向きな取組み」「事業継続計画（BCP）への取組み」「ワクチンへの期待」の7つに分け、動向をまとめる。

### （1）経営面での苦境

業況判断D. I. の低迷が続いていることからわかるように、新型コロナウイルスの感染拡大による国内消費の低迷などの負のショックは、2021年6月調査時点でも継続している。

調査員のコメントをみると、前回同様、需要低迷などを受けて、業績に悪影響が出たとの声が幅広い業種から寄せられている（図表4）。各種イベントが中止・延期になったことによる被害を指摘する声も全国的にみられた（図表5）。また、他地域との往来が困難になったことによる被害を指摘する声もみられた（図表6）。

（図表4） 需要低迷などを受けて業績に悪影響が出たとするコメント

コメント	業種	都道府県
東京での家具や建具の受注がコロナの影響で中断や延期になり、売上減少している。	家具、建具製造	北海道
コロナの影響で宿泊客のキャンセルが続出、業況非常に厳しい。予約が入っていないときは休館するなどし、固定費削減に努めている。	宿泊業	北海道
5月に市内の飲食店でクラスターが発生しその影響でほとんどの飲食店が休業したため、酒類の売上が大きく減少。	酒類、本、文具、たばこ製造	青森県
冠婚葬祭の小規模化とコロナの影響から売上は激減。財務内容も大きく悪化している。	結婚式場、飲食店	宮城県
新型コロナによるテレワークの増加で、スーツやワイシャツのクリーニングが減少している。	クリーニング	千葉県
コロナ禍で感染防止対策を徹底しているものの、固定客だった高齢者の来店が減っている。若者のパチンコ離れもあり、業況は厳しい。	遊技場	長野県
航空会社の社員が主要顧客であり、昨年から減少しており、回復のめどが立っていない。	エステサロン	静岡県
コロナの影響で県内観光地への客が減少している。	日用品雑貨卸売	静岡県
テレワークやネット会議の普及により、紙の消費が減少している。	紙および紙器卸売	静岡県
世界的なタンナーブランドだが、百貨店等の閉鎖が続き在庫が増加している。	皮革製品製造	兵庫県
コロナ禍で、例年予約が入っている大手企業の新人研修の長期宿泊がなくなった。	ビジネスホテル	兵庫県
コロナ禍終息の兆しが全く見えず、売上回復には程遠い状況、各種経費節減とともに仕入れ先の見直しも同時並行で行う。	居酒屋	広島県
コロナの影響から都市部の店舗では相当数の会員脱退があり、売上げは依然低迷している。郊外の店舗は下げ止まりつつある。	スイミングスクール	香川県
緊急事態宣言による時短営業と酒類提供の禁止が売上を大きく低下させている。宣言解除後のお客様の戻りに期待したい。	飲食店	東京都
コロナの影響で居酒屋等の取引先に多大な影響が出ており、受注が大幅に減少している。	生ビール用ディスプレイ製造業	東京都

（備考）第184回全国中小企業景気動向調査および東京都信用金庫協会資料より信金中央金庫 地域・中小企業研究所作成（以下同じ）

(図表5) イベント中止による被害を受けたとするコメント

コメント	業種	都道府県
新型コロナの影響で大口受注先であったイベント等が軒並み中止となった。	洋菓子製造	北海道
コロナ禍の影響で定期的な展示即売会が中止となり、営業が不能になっている。公的な補助を願っている。	婦人、紳士服等小売	福島県
コロナ禍によってイベントの中止があり、売上が減少した。また、PCR検査キットや消毒液の購入など、経費も増加している。	理容業	岡山県
コロナ禍により、イベント等の中止で売上げが激減している。設備投資を検討していたが、業況が悪いため悩み中。	かまぼこ製造	鹿児島県
イベント関係の中止が続いているため売上が減少傾向にある。今後は、グッズのWEB販売等、地道な努力を継続することで経営を維持していきたい。	イベント企画	東京都

(図表6) 他地域との往来や営業が困難になったことに伴うコメント

コメント	業種	都道府県
カップ麺等を検品する機械の見積もり依頼はあるが、コロナの影響で商社社員がリモートをしており、契約に至っていない。	食品用、一般機械器具製造	埼玉県
海外3か国に子会社を有しているが、コロナ禍により現地へ行けない状況が続いている。	金属加工、プラスチック射出成型	神奈川県
4月以降、経費削減で契約解除されるケースが出始めている。特に関東圏で多い。飛び込みによる新規開拓もできないため、毎月売上が微減している。	コーヒー、水小売	新潟県
コロナにより営業活動が進んでいない。リモートでの商談では成約が難しい。新商品を開発したが、関東圏で営業ができない。	ソフトウェア開発	岡山県

また、今回のコメントの中には、廃業（将来的な可能性も含む。）に関するものも多くみられた（図表7）。これらの企業には、コロナ以前から業況が振るわないところも含まれる。コロナ禍によって、廃業が加速する可能性が考えられよう。

一方で、同業他社の廃業によって地域内での競争が緩和し、業況が改善したとのコメントも多くみられる（図表8）。中小企業の整理が進む過程で、生き残った企業の生産性が上昇する効果も期待できよう。

(図表7) 廃業に関連するコメント

コメント	業種	都道府県
現在の代表者限りで廃業することを検討しており、事業継続に関心がない。	酒、コメ、青果小売	北海道
事業の内容に問題はないが、後継ぎがおらず、あと何年続くかわからない。	木材製造（木彫り）	茨城県
後継者なく、将来的には閉鎖を考えている。	鞆小売	茨城県
現代表が退くとともに廃業する様子。娘が入社しているが、事業承継の意思はない。	農機具卸売	埼玉県

夫婦2人で営業しており、6月末で廃業予定。	和菓子小売	愛媛県
コロナにより売上大幅減少。在庫が増加し、処分に困っている。資金繰りは厳しくはないが、コロナ長引けば廃業を検討する。	土産品卸売	大分県
コロナ禍により売上げの低迷が続いている。このままなら廃業を視野に入れなければならない。	氷小売	大分県

(図表8) 同業他社の廃業に伴い売上が増加したとするコメント

コメント	業種	都道府県
学校給食についてコロナによる休校のため売上減少したが、同業者の廃業による受注増加もあり、今後は売上増加見込み。	米飯、パン製造	新潟県
近隣の同業者が廃店したため、顧客は増加傾向。配達エリアが広がってしまったため、経費が増加している。	生花小売業	静岡県
同業他社が廃業したため、売上が増加している。受注の半分程度しか生産量がなく、増産のため設備投資を検討中。	食品、青果製造	静岡県
同業者の廃業もあり、新規先からの問い合わせもある。契約が取れば、設備の更新も考える。	エビ姿焼き製造	和歌山県
同業他社の廃業を受けて取引先を引き継いでおり、売上増加している。	鎖製品全般	兵庫県
コロナ禍において同業他社の廃業を受け、需要は増加している。従業員の増員も検討している。作業所兼事務所の購入も検討中。	金属製品製造、研磨	福岡県

## (2) 業績好調

業況が厳しいとする企業が多い一方で、コロナ禍の中でも需要が増加しているとするコメント(図表9)も、幅広い業種から寄せられている。外出自粛に伴う巣ごもり需要などを指摘する声が多い。

(図表9) 業績好調とのコメント

コメント	業種	都道府県
プレミアム商品券の利用客が多かった。物産展は、大型連休もあり、売上好調であった。	菓子小売	青森県
コロナ禍で家庭内の飲酒が増え、需要が増加した。オリンピックが開催されればさらに需要増が見込める。	酒、飲食店小売	福島県
訪問介護等の介護事業が好調を維持しており、昨年度を上回る売上を計上。新規店舗を検討するなど、事業拡大を視野に入れている。	介護、鍼灸整骨院	神奈川県
5G関連の受注増加により、好調に推移している。2025年頃までは旺盛な需要が続く見通し。生産性向上や省エネのための投資を計画的に行っていく。	プリント基板製造	長野県
船外機部品が好調。残業にて対応している。	船外輸送機部品製造	静岡県
キャンピングカーが生産が追いつかないほど売れている。コロナが追い風となっており、納車は3か月待ち。	自動車卸売	愛知県
コロナにより巣ごもり需要が高まり、DIY関連工具の売れ行きが順調。増産設備も導入した。	金物製造	兵庫県

1人キャンプの需要が高まり、アウトドア用品の売上が伸びている。	バケツ、バーベキュー用品製造	兵庫県
コロナ禍で衣料品の販売が増加したほか、巣ごもり需要で生活用品の販売も増加。新規出店を計画するなど、設備投資には積極的。	衣料品小売	兵庫県
コロナによる田舎暮らしの需要の高まりに加え、観光地としての知名度向上により、売買や問い合わせが増加傾向にある。	不動産仲介、販売	兵庫県
コロナ禍のなか、巣ごもり需要により好業績を維持している。	食品製造	山口県
コロナ禍で、テイクアウトが増加し売上げは好調。口コミにより新規顧客も増加。後継者も育成できている。	唐揚げ小売	福岡県
アウトドア用品の需要が高まり、売上げは増加している。	スポーツ用品卸売	鹿児島県
外出自粛の流れにより、酒類や食品関連の消費が増えており、業績好調である。	酒類、食品製造	鹿児島県
お客様へDMを送付したことにより、新規顧客が大幅に増えて売上も増加した。従業員も年々増やしており今後は事業拡大を目指している。	室内装飾	東京都

また、今回の調査では、ECサイト等のネット販売によって需要を獲得したとのコメントも数多くみられた（図表10）。対面での販売が困難になるなかで、需要を獲得するための手段として注目される。一方で、「昨年は巣ごもり需要によりネット通販が好調だったが、今年は一段落した。（生地、カーテン小売 埼玉県）」や「今期はインターネット販売が低調。（木製品製造 岡山県）」とのコメントもあり、ネット販売による需要獲得に頭打ち感が出ている企業が出ていることにも留意する必要がある。

（図表10）ネット販売により需要を獲得したとするコメント

コメント	業種	都道府県
コロナ禍においてもインターネット販売を強化し、売上増加。転機ととらえている。	パン、コーヒー等製造	北海道
コロナ禍で店頭売上減少もネット販売好調。ただし、利幅が小さいため今後は経費削減が必須。	贈答品小売	埼玉県
昨年よりネット販売に力を注ぎ、個人向けの売上が増加している。	酒類販売	埼玉県
昨年は巣ごもり需要によりネット通販が好調だったが、今年は一段落した。ただしネット通販は増加傾向にあり、今後はさらに品ぞろえを充実させる意向。	生地、カーテン小売	埼玉県
コロナ禍ではあるものの、HPを充実させることにより、販売や契約に結びつけている。	建築、不動産売買	埼玉県
インターネット販売を中心に売上げは安定推移。店舗老朽化に伴う修繕を自己資金で行う。	靴、履物小売	新潟県
近年、インターネット販売に注力してきた。コロナ禍において、店頭売上が減少する一方でネット販売は好調であり、全体の売上は維持している。	衣服小売	長野県
コロナの影響はない。SNSを活用した販売促進により集客力を高めている。	青果小売	愛知県



コロナの影響によりネット販売が引き続き好調。商品の運賃の見直しなどを行っている最中である。	いぐさ製品、敷物、家具卸売	岡山県
-----------------------------------------------	---------------	-----

### (3) 人手不足

前々回、前回に引き続き、人手不足を訴える企業からのコメントが多く聞かれた。中小企業は慢性的な人手不足状態が続いており、なかには「募集をかけても反応がない。人材不足による事業縮小や廃業のリスクを感じている。(介護事業 北海道)」のように、深刻な例もみられる。今後、労働力人口の減少が進む中で、人手不足問題がより深刻になる可能性も考えられる。「人手不足解消のため、新設備を導入し効率化や生産性向上を図っていく考え。(チップ製造 岩手県)」のように、生産性向上を通じて人手不足に対応していくことが求められよう。

(図表11) 人手不足を訴えるコメント

コメント	業種	都道府県
人材不足が深刻な問題となっており、同じ町内の業者で人材を奪い合う構図となっている。	土木工事	北海道
人員不足が課題。外国人実習生を活用しているが、戦力になるまで時間を要する。コミュニケーションが課題である。	土木建設業	北海道
人材不足に懸念があり、毎月、インターンシップを開催している。Web会社説明会も行っている。	総合工事業	岩手県
コロナの影響で取引先が減少している。また、ベテランが退職し、人手不足感がある。	中華めん製造	茨城県
受注は増え始めているが、人手不足が問題。	一般木造建築	埼玉県
典型的な3K業種であり、人材確保に苦労している。当金庫から人材募集サイトを紹介したが、費用面で見合わず、見送った経緯あり。	機械修理	千葉県
人手不足が最大の課題となり、外国人採用等も検討している。	自動車小売	静岡県
コロナの影響でデイサービスの利用が減少して以降、回復していない。コロナリスクから退職した職員もいることから、人材確保が急務。	訪問介護	岐阜県
労働力減少と社長の体力的な事情により、事業縮小を考えている。	漬物製造	愛知県
機械の故障により生産ラインが一時停止した。また、人手も不足しており、人材募集するもなかなか集まらない。	輸送用機械部品製造	兵庫県
売上げは安定しているものの、人手不足気味。新しく入社する人がいないため、積極的に人材を募集している。	ガラス、鋼製建具製造	愛媛県

### (4) 仕入材料不足、価格高騰

今回の調査においては、ウッドショック(図表12、13)、半導体不足(図表14、15)、その他原材料不足や資源価格高騰(図表16)といった、いわゆる仕入の「不足」や「価格上昇」に関連するコメントが多くみられた。

企業によっては、不足による特需を享受できるケースもあるものの、産業全体として

は、仕入の不足は事業活動の低迷に直結する。また、中小企業は、仕入価格の上昇を販売価格に十分に転嫁できないことも多いため、仕入価格の上昇は業績の悪化と関連が強い。今後、コロナ禍から回復していく中で、仕入の動向に注視する必要がある。

(図表12) ウッドショックに関するコメント (悪影響)

コメント	業種	都道府県
アメリカからの木材不足が予想され、材料確保が当面の最重要課題。	家具、建具製造	北海道
ウッドショックによる木材価格の高騰により、住宅価格の値上げや工期の遅れが懸念される。	建築業	秋田県
現在発生しているウッドショックについては、今後2年以上続くとみている。	リフォーム工事、内装仕上げ工事	岩手県
ウッドショックにより夏場まで仕入れが困難になる見通し。在庫は当面あるものの、夏以降の見通しが立たない。	木材卸	群馬県
新築一戸建ての受注が堅調だが、北米輸入木材が極端に品薄となり、着工延期となっている案件が増えている。	建設、設計	新潟県
木材高騰による販売単価引上げを受け、売れ行きが落ち込むだろうと見込んでいる。	不動産業	静岡県
7～9月からウッドショックの影響が出てくる可能性がある。	畳材料、内装資材卸売	愛知県
ウッドショックの影響により、ベニヤ板などの木材の価格が上昇している。材料および利幅の確保が課題となる。	型枠工事業	大阪府
コロナの影響は一時的だったが、ウッドショックのほうを今は心配している。今は見極めをしている状況。	土地売買、建物建築	兵庫県
受注量に大きな変化はないが、ウッドショックにより木材の価格が高騰し、利益の低下を招いている。	個人住宅建築	岡山県
材木の輸入が止まっており、仕入ができず受注を確保することが困難である。	材木建材卸売	東京都

(図表13) ウッドショックに関するコメント (好影響)

コメント	業種	都道府県
ウッドショックを受け、建材の注文が増加しているが、対応が追い付いていない。	建築資材製造	静岡県
ウッドショックの中、新規先からも注文の連絡がある。しかし、急に販売量を増やすことはできない。安定した取引ができる先を選別していく。	建築材製造	静岡県
ウッドショックにて販売価格が上昇しているが、材木を切り出す職人が高齢化しており、問題視している。	ヒノキ建築用製品	三重県
ウッドショックの影響で特需となり、利益は増加。ただ、製材後の乾燥機の稼働力に限りがあり、増産力は限られる。	製材業	岡山県
ウッドショックの影響で、主要顧客である林業関係者からの引合いが多く、売上げ好調である。	重機販売、リース、整備	岡山県

(図表14) 半導体不足に関するコメント (悪影響)

コメント	業種	都道府県
半導体等の部材の調達に支障をきたしており、資金繰りに影響を与える可能性がある。	産業用電源製造	神奈川県
半導体不足について、当社においては直接的な被害はなかったが、間接的な影響を危惧していた。	自動車関連検査機製造	静岡県
コロナによる影響はなくなったが、4月以降、半導体不足の影響により売上は減少傾向。取引先大企業からの事前通知がなく、生産調整が困難。	輸送用機械部品製造	静岡県

(図表15) 半導体不足に関するコメント (好影響)

コメント	業種	都道府県
半導体部品や自動車のフレーム等の国内需要が回復、中国向けも好調であり、過去にない状況が続いている。	IT金属筐体	新潟県
世界的な半導体の好調を受けて、3月から売上が大幅に増加している。アルミなど原材料価格の値上がりが不安要素である。	半導体製造装置向け金属加工	長野県
コロナ禍におけるリモートの普及から、半導体市場が好調。	真空ポンプ、半導体部品製造	三重県

(図表16) その他原材料不足や資源価格高騰についてのコメント

コメント	業種	都道府県
コンクリート需要が多いものの、原材料となる砂利の供給が不足している。	砕石業	北海道
前年から受注環境は大きく変わらず好調を維持。資材価格が高騰しており、請負価格への転嫁が課題。	防水工事	北海道
アメリカや中国の影響を受けた世界的な鉄価格の高騰を受け、国内製鉄メーカーの販売単価が急激に上昇している。	金属加工	千葉県
歯科の診療控えが発生し、受注量が低下。材料費も高騰しており、受注に影響している。	歯科技工所	千葉県
鋼材関連の価格高騰により、利益率悪化。元受けからの転注を防止すべく、価格交渉は当面控える姿勢。	鉄鋼板金、製作加工	静岡県
コロナの影響は終息しつつあるが、鳥インフルエンザの影響で鶏卵が高騰しており、原価率上昇している。	半生菓子製造	愛知県
銅の価格高騰が止まらず、7月も値上げの可能性が高いといわれている。受注は好調。	金属旋盤	愛知県
非常事態宣言の中でも業況は堅調に推移している。ただ、海産物の輸入が減っており、日本近海でも漁獲量減少している。仕入価格の上昇を今後の販売価格への転嫁ができるか懸念している。	水産加工卸	愛知県
銅や真鍮が中国の買い占め等により高騰。利益が出なくなっている。	大型電気部品	滋賀県
金属価格の上昇で大幅な増収増益見込み。	金属リサイクル	広島県
鉄くずや銅の需要が高まっており、売上げが増加している。	自動車スクラップ	広島県

### (5) 前向きな取組み

今回の調査では、前述の図表8とも関連するが、新たにSNSなどインターネットを利用して販売を強化しようとする取組み(図表17)に加え、新分野参入や事業転換を図る(図表18)など、前向きな取組みを行っているとのコメントも多数みられた。

(図表17) SNSなどインターネットを利用した販売の強化に関するコメント

コメント	業種	都道府県
HPの拡充やSNSを活用した宣伝広告により、新規顧客の獲得に努めている。今後もインターネット販売を拡充し、人員不足を補っていく方針。	寝具小売業	山形県
インターネット販売にて売上増加を図っている。製造が追いついていないため、機械の増設を図る。	餃子小売	茨城県
中国向け部品の受注が増加傾向。現HPの一部更新により、オーバーホール事業についても周知していく方針。	特殊機械製造	埼玉県
コロナの影響で大口先からの受注が減少。販路拡大のため、HPやSNS等を活用し始めた。	通信機器部品製造	埼玉県
昨年から動いていた自社HPによるネット販売について、ようやく補助金の申請が通ったため、春から着手している。ネットによる販路拡大を目指す。	酒、たばこ、飲料水小売	新潟県
新型コロナの影響は依然として大きく、売上げの確保が課題である。SNSを活用した低コストでの広告宣伝に注力している。	クリーニング	滋賀県
コロナの影響はあるが、これまでの顧客基盤に加え、SNSを活用した新規顧客の獲得に努めている。	呉服小売	兵庫県
コロナの影響で動きが鈍い。以前よりフェイスブックやInstagramにて情報発信をしており、コロナ禍であることからテレビ電話やメールでのリフォーム商談が増えている。	建材卸、リフォーム	岡山県
展示会等、直接エンドユーザーと交渉できる機会が激減したことから、売上げは低調。今後はWeb等の非対面に注力する。	介護用品関連品小売	広島県
HPを使用した通販の売上が好調。ただ、イベントやセールは中止にしており、売上げに影響している。	衣料品販売	愛媛県

(図表18) 新分野参入、事業転換に関するコメント

コメント	業種	都道府県
東京の会社をM&Aで子会社化し、販路は広がる見込み。	タンク類製造	北海道
当庫の働きかけによりM&Aが成立して現体制になり、親会社の営業力により安定推移してきた。設備老朽化や用地不足など新たな課題もある。	鋳金業	新潟県
高級食パン店やハンバーガー店など、飲食部門を副業態として立ち上げた。	内装材卸	群馬県
コロナ禍の影響はあまりない。近隣の飲食店とのコラボ商品を出すなど、新商品を販売。電子決済を取り入れ、若年層の客足も増加。	和菓子小売	千葉県
コロナにより厳しい状況が続いている。一時支援金や事業再構築補助金等を活用しながら、新事業による売上確保を目指している。	食堂	神奈川県
約800社の取引先に対し、サブスクリプションサービスを展開して収益源としていく。	建設機械の販売・レンタル	神奈川県

同業者との競争激化が予想されるため、新たにペット葬祭業を始めるなど、新たな分野に進出している。	葬祭関連	静岡県
新事業としてアウトドア用品の企画・販売をスタートしており、これまでと違った客層へのアプローチ方法を模索している。	航空機部品、産業機械製造	三重県
コロナ禍を受け最大の売上減少に見舞われ、時短営業など固定費を圧縮する対策をしている。今後、補助金を活用しキッチンカーの導入も検討している。	レストラン	山口県
家具のレンタル事業を開始したことにより、人手不足が目立つようになってきた。	家具小売	大分県

## (6) 事業継続計画（BCP）への取組み

今回の調査では、特別調査で事業継続計画（BCP）の作成の状況についても調査した。結果、「作成している（予定を含む。）」は15.7%にとどまった。

コメントからも、BCPについて消極的な声が多い（図表19）。一方で、数は少ないものの、積極的に取り組んでいるとの声もみられた（図表20）。信用金庫の中には、「BCPについては、当金庫から働き掛けを行う。（合成樹脂製造 埼玉県）」、「当金庫から早期の事業継続計画（BCP）の策定を提案した。（土木工事 新潟県）」、「BCPについてよくわからないとのことなので、信用金庫担当者から災害時の事業継続手段や方法等について説明した。（洋菓子の製造販売 三重県）」のように、企業のBCP策定を支援する動きもみられる。こういった取組みについて、さらに継続することが求められよう。

(図表19) 事業継続計画（BCP）に関するコメント（消極的）

コメント	業種	都道府県
BCPについて、言葉はよく聞かすがあまりわかっていない。災害時の対応は何も定まっていない。	婦人服、スポーツウェア小売	北海道
事業継続に危機感はあるが、具体的には動いていない。BCPについてはさほど興味はない。	機械刃物製造	茨城県
少人数で業務を行っており、BCPを作成する余裕はなく、意図もない。	不動産仲介	埼玉県
受注は好調で、前年比増。日常業務が多忙により、事業継続計画の作成はしていない。	空調、音響機器部品	神奈川県
事業継続については全く危機を感じておらず、BCPについても必要ないと考えている。	土木工事	神奈川県
BCPについてはよく情報を持っておらず、必要性も感じていない。	金属部品加工	新潟県
このアンケートで改めてBCPについて考えなければならないと感じた。ただ、実際BCPを作成するには資金など余裕のある企業ではないと難しいのではないかと。	電動工具、建築材料小売	岐阜県
代表者1名で事業を行っているため、事業継続に関して必要性を感じておらず、対策等も行っていない。	不動産売買、仲介	三重県
BCPの作成を視野に入れてはいるものの、そこまでの余裕はない。	豆腐、大豆食品製造	兵庫県

コロナの影響で利用客が減少、人手不足も続いており、BCP作成の余裕がない。	ゴルフ場運営	岡山県
---------------------------------------	--------	-----

(図表20) 事業継続計画（BCP）に関するコメント（積極的）

コメント	業種	都道府県
BCPについての経営者の意識は高く、社員への通知も行われている。	医療用白衣製造加工	秋田県
BCPについては勉強会に参加するなど積極的である。	ブランデーケーキ、シュークリーム小売	群馬県
今期中に、補助金を活用しながら事業継続計画（BCP）の策定を検討。	建築金物製造	新潟県
今回の調査がきっかけでBCP作成を検討する。	プレハブ建設工事	静岡県
全国に販売拠点を持っており、BCP等の体制整備は十分行えている。	医療機器卸	愛知県
情報のバックアップは本社以外でも行っている。また、サイバーセキュリティ対応も取引先から求められており、対策を進めている。	専用機の設計製作	三重県
BCPについて、業界団体で当社が中心となり導入推奨している。	建機製造、板金	兵庫県
BCP作成済みであり、短期間の代表者離脱には十分対応が可能。	学校給食製造	岡山県
BCPについて、早期に作成し、社員の意識向上と迅速な行動を目指す。	総合工事業	大分県

### (7) ワクチンへの期待

今回の調査では、「ワクチン接種が終わらなければ、動きが取れない。（自動車部品およびタイヤ販売 千葉県）」のように、個人消費と関連が深い業種を中心に、ワクチン普及による経済回復に期待を寄せるコメントが全国から寄せられた（図表21）。

(図表21) ワクチンへの期待に関するコメント

コメント	業種	都道府県
売上げは回復基調であるが、厳しい状況が続いている。ワクチン接種による経済回復に期待したい。	宿泊業	北海道
当地有数の旅館であり、各種キャンペーンにより集客を図っている。売上げ回復はワクチン接種次第であり、アフターコロナに向けての対応も考えている。	旅館業	山形県
新型コロナウイルスの影響で売上げは依然として減少したままである。ワクチン接種が進めば徐々に売上げ回復に向かうと考えられる。	旅館	福島県
コロナ禍に対応するための設備投資を実施したが、利用客の回復が見込めない。ワクチン接種の普及と第2のGOTOキャンペーンの実施を期待している。	旅館	岐阜県
コロナの影響で売上げ減少。今後、ワクチンの普及が進めば売上げ回復が見込める。	美容、着付	三重県

時短営業を行い給付金を受けているが、売上減少分をカバーできていない。ワクチン接種がいきわたるまでは業況改善は難しいと思われる。	カラオケボックス	愛媛県
-----------------------------------------------------------------	----------	-----

## おわりに

本稿では、2021年6月に実施された全国中小企業景気動向調査における調査員のコメント欄をもとに、中小企業の動向についてまとめた。

新型コロナウイルスの被害を受けている企業からの声は依然として多く寄せられているが、一方でSNSなどインターネットを利用した販売の強化に加え、新分野参入や事業転換といった前向きな取組みを実施しようとしている企業も多くみられた。

2021年9月調査（調査時期：9月初旬）においては、特別調査で「中小企業の雇用環境について」をテーマとし、調査を実施する。新型コロナウイルスの影響については継続して調査し、結果を還元する予定である。

本稿で採用しているコメントは、いずれも信用金庫職員が調査員となり、渉外活動を通じて収集したものである。それぞれの事業者の置かれている現下の状況について、数多くのコメントをお寄せいただいた。調査にご協力いただいた中小企業経営者の方々と併せて、ここで改めてお礼を申し上げますとともに、今後ともコメント欄への積極的な記入をお願いしたい。

以上  
(品田 雄志)

### <参考資料>

- ・信金中央金庫「第184回中小企業景気動向調査（2021年4－6月期）」

本レポートのうち、意見にわたる部分は、執筆者個人の見解です。また当研究所が信頼できると考える情報源から得た各種データなどに基づいてこのレポートは作成されておりますが、その情報の正確性および完全性について当研究所が保証するものではありません。

【産業企業情報バックナンバーのご案内】

号 数	題 名	発行年月
2019-3	事例にみるSDGs（持続可能な開発目標）による中小企業の経営力強化 —社会課題の解決と本業リンクでの自己革新がもたらす真の事業継続力—	2019年 8月
2019-4	信用金庫の視点でひも解く 2019年版中小企業白書・小規模企業白書 —令和時代の中小企業・小規模事業者の活躍に向けて—	2019年 8月
2019-5	中小企業の「継続力」を考える② —ファミリービジネスの“後継者”としての意識が醸成されるプロセスとは—	2019年 9月
2019-6	中小企業の働き方改革を通じた生産性向上に必要なこととは —働き方改革には経営改革・革新が不可欠—	2019年 12月
2019-7	中小企業の「継続力」を考える③ ～ファミリービジネスにおける“ファミリーガバナンス”の力～	2019年 12月
2019-8	中小企業景気動向調査からみた2019年の回顧と2020年の展望 —調査員のコメントからわかる中小企業の生の声—	2020年 1月
2019-9	ゼロから考える「中小企業のSDGs」 —前向きな取組みで企業経営の改善と社会問題の解決を両立—	2020年 2月
2019-10	中小企業の「継続力」を考える④ ～ファミリービジネスにおける後継者育成～	2020年 3月
2020-1	中小企業景気動向調査からみた新型コロナウイルス感染拡大の影響 —調査員のコメントからわかる中小企業の現状—	2020年 4月
2020-2	中小企業の「継続力」を考える（総括編） —“ファミリービジネス”の経営が示唆するものは何か—	2020年 5月
2020-3	中小企業は「後継者不在」へいかに対応すべきなのか① ～多様化・高度化が進む事業承継局面での選択肢～	2020年 6月
2020-4	中小企業景気動向調査からみた新型コロナウイルス感染拡大の影響② —業況の急激な悪化の一方、新しい取組みも—	2020年 7月
2020-5	信用金庫の視点でひも解く 2020年版中小企業白書・小規模企業白書 —新たな「価値」を生み出す中小企業、地域で「価値」を生み出す小規模事業者—	2020年 8月
2020-6	中小企業は「後継者不在」へいかに対応すべきなのか② ～適切なタイミングを見据えた早めの対応がカギを握る役員・従業員承継～	2020年 9月
2020-7	新型コロナウイルスの感染拡大による中小企業への影響について —全国中小企業景気動向調査から—	2020年 10月
2020-8	中小企業景気動向調査からみた新型コロナウイルス感染拡大の影響③ —業況はわずかに回復、様々な取組みを行う企業も現れる—	2020年 10月
2020-9	中小企業は「後継者不在」へいかに対応すべきなのか③ ～事業の「磨き上げ」が大きなカギを握るM&Aなどの「社外への引継ぎ」～	2020年 12月
2020-10	中小企業経営の注目キーワード10	2021年 1月
2020-11	中小企業景気動向調査からみた新型コロナウイルス感染拡大の影響④ —業況はわずかに回復、デジタル化やIT化を進める企業も—	2021年 1月
2020-12	新型コロナ感染拡大の裏に潜む中小企業の人手不足問題 —ダイバーシティ推進と生産性向上が求められる—	2021年 3月
2020-13	中小企業は「後継者不在」へいかに対応すべきなのか④ ～事業承継を模索するなかでの「廃業という選択肢」の可能性～	2021年 3月
2021-1	全国中小企業景気動向調査からみたコロナ禍における中小企業の動向 —業況は低水準ながら前向きな事業戦略を進める企業も—	2021年 4月
2021-2	中小企業は「後継者不在」へいかに対応すべきなのか（総括編） ～「早めの対応が不可欠」であることの再認識を～	2021年 5月
2021-3	環境激変に挑む中小企業の「危機対応」（導入編） —数々の危機を乗り越えてきた「長寿企業」の経営が示唆するものとは—	2021年 6月
2021-4	環境激変に挑む中小企業の「危機対応」①（製造業編） —変革に挑み続ける製造業の長寿企業の危機対応事例—	2021年 6月

\*バックナンバーの請求は信金中央金庫営業店にお申しつけください。



## 信金中央金庫 地域・中小企業研究所 活動状況 (2021年6月実績)

### ○レポート等の発行状況

発行日	レポート分類	通巻	タイトル
21.6.1	金融調査情報	2021-8	信用金庫の非対面チャネルの強化 －事前課題の集計結果－
21.6.1	金融調査情報	2021-9	コロナ禍における信用金庫経営② －事前課題の集計結果－
21.6.3	内外金利・為替見通し	2021-3	早ければ6月会合で、企業の資金繰り支援策の期限が延長される可能性も
21.6.9	ニュース&トピックス	2021-18	2021年5月末の預金・貸出金動向（速報） －信用金庫は預金6.8%増、貸出金6.1%増と鈍化－
21.6.16	地域調査情報	2021-1	平時と災害時における地域の支え合いの仕組みづくりをサポート－宮城県石巻発 一般社団法人日本カーシェアリング協会の取組み－
21.6.21	産業企業情報	2021-3	環境激変に挑む中小企業の「危機対応」（導入編） －数々の危機を乗り越えてきた「長寿企業」の経営が示唆するものとは－
21.6.23	金融調査情報	2021-10	大和証券株式会社のベテラン層社員の活躍拡大策
21.6.28	産業企業情報	2021-4	環境激変に挑む中小企業の「危機対応」①（製造業編） －変革に挑み続ける製造業の長寿企業の危機対応事例－
21.6.30	金融調査情報	2021-11	やさしく読み解くSDGs（1） －SDGsとは何者なのか－

### ○講演等の実施状況

実施日	講演タイトル	主催	講演者等
21.6.24	激動する投資環境 －押さえておきたい世界経済の動向－	多摩信用金庫	角田 匠

<信金中央金庫 地域・中小企業研究所 お問い合わせ先>

〒103-0028 東京都中央区八重洲1丁目3番7号

TEL: 03-5202-7671（ダイヤルイン） FAX: 03-3278-7048

e-mail: s1000790@FaceToFace.ne.jp

URL <https://www.shinkin-central-bank.jp/>（信金中央金庫）

<https://www.scbri.jp/>（地域・中小企業研究所）